

東京都立羽村高等学校 令和4年度 年間授業計画

教科：地理歴史

科目：日本史B

単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

教科担当者：（1組～4組：佐藤 英理人）（5組～7組：中島 龍平）

使用教科書：改訂版 高校日本史 日本史B（山川出版社）

使用教材：山川ビジュアル版 日本史図録（山川出版社）

	指導内容	日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	ガイダンス 開国と幕末の動乱	自己紹介・授業の進め方・評価方法 等 「鎖国」はどのようにして終わったのか、江戸幕府がどのようにして倒れたかを考察させる。その際、欧米諸国のアジア進出の動き等の国際関係と関連させて考えさせる。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 (授業態度) ・知識・理解 (プリント提出) (ノート提出) (定期考査)	12
5月	明治維新と強兵 立憲国家の成立と日清戦争	廃藩置県、徴兵令、封建的身分制度の廃止等明治政府がどのように全国を治めたのかを考察させる。 国会開設の方針はどのように決定したのかを考察させる		9
6月	立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係	自由民権運動がなぜ衰退し、立憲体制はどのように成立したのか、日本がなぜ清国と戦ったのかを考察させる。 日本とロシアはなぜ戦い、日本の大陸進出がいかに進められたのかを考察させる。		12
7月	近代産業の発展	近代産業がどのように発展し、その背景としてどのような社会的問題を発生させたかを考察させる。		6
9月	第一次世界大戦と日本 ワシントン体制	21か条の要求やロシア革命とシベリア出兵等の動きを含め、第一次世界大戦に日本はどのように関わったのかを考察させる。 大戦後、ヴェルサイユ条約を結び、民族主義が世界的に高まる中で、日本がワシントン体制に組み込まれていく過程を考察させる。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 (授業態度) ・知識・理解 (プリント提出) (ノート提出) (定期考査)	12
10月	恐慌の時代 市民文化	日本経済が大戦景気から一転し、戦後恐慌に陥り、さらに世界恐慌の影響を受けて昭和恐慌に至るまでの過程を考察させる。 都市の発達や大衆文化の出現などの現象を学ぶことを通して、大衆文化とはどのような性格をもつ文化であるかを理解させる。		12
11月	軍部の台頭 第二次世界大戦 占領と改革	日本でなぜ軍部が台頭し、どのような経過で中国を侵略したのか、なぜ政党政治が崩壊し、なぜ、長期にわたる戦争に突き進んでいったのかを多角的に考察させる。 第二次世界大戦がどのように推移したのかを考察させる。また太平洋戦争がどのような性格を持っていたものののかを考察させる。 連合軍による占領政策と目的を理解させる。また、諸政策がその後の日本社会にどのような影響をもたらしたのか、考察させる。		12
12月	占領と改革 冷戦の開始と講和	連合軍による占領政策と目的を理解させる。また、諸政策がその後の日本社会にどのような影響をもたらしたのか、考察させる。 現代の日本を形作る改革がどのように行われてきたのかを理解させる。		9
1月	55年体制 経済復興から高度経済成長へ	東西冷戦下において、ソ連との復交や国連加盟が実現したこと、国内的には55年体制が成立したことを考察させる。 高度経済成長により国民生活が豊かになった反面、公害の深刻化等の社会問題も顕在化したことなどについて考察する。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 (授業態度) ・知識・理解 (プリント提出) (ノート提出) (定期考査)	9
2月	経済大国への道 現代の情勢	消費生活の拡大、自動車の普及、核家族化などによる家庭生活の変化や教育水準の向上・科学技術の発達に伴う生活水準の向上などにより、国民生活はどのように変貌したかを知る。 国際政治の枠組みの変化と、長引く不況により、日本はさまざまな解決すべき問題を抱えていることについて考察させる。		12
3月				
				105